

令和5年度 学校評価結果の報告

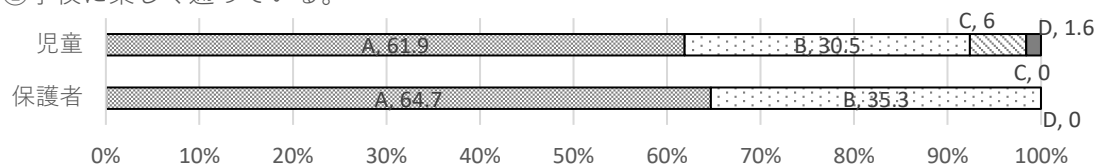
四国中央市立上分小学校

1 教職員自己評価（数値結果）評価項目と4段階評価結果

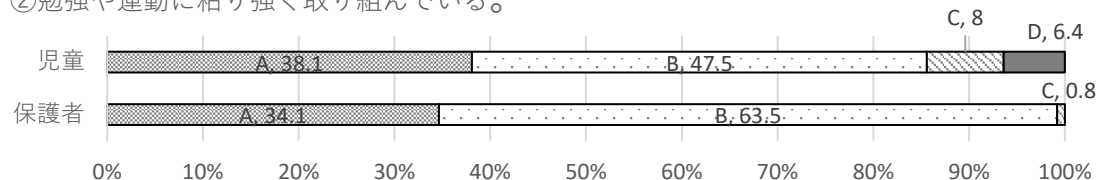
		1学期	2学期
1	学校の教育目標・児童像の具現化（心豊かにたくましく生きる・えがおいきいきかがやく子）	3.6	3.8
2	確かな学力の定着（ユニバーサルデザイン・環境・基本的な学習指導など）	3.7	3.5
3	温かい学級づくり・児童理解（自他の良さが分かる・自他を大切に・共通理解・連携）	3.5	3.5
4	学校安全（安全点検・廊下歩行・登下校など）	3.2	3.4
5	児童会活動・なかよし班活動の充実（活動内容や児童の主体性・集会や遊び・委員会）	3.4	3.7
6	教育課程の編成（つどい・校時表・行事・月行事・朝の時間・清掃など）	3.6	3.7
7	家庭や地域との連携・融合（早寝早起き朝ごはん・家庭学習・音読カード・参観日・PTA活動など）	3.6	3.8
8	特別支援教育の充実（研修内容・施設・学習内容）	3.6	3.6
9	道徳教育（年間計画・授業改善・教育活動との連携）	3.7	3.8
10	心を育て、実践力を培う人権・同和教育（研修内容・チャンス研・児童の育ち）	3.6	3.5
11	体育的な行事（教科学習・児童の遊び）	3.7	3.7
12	保健学習の充実（保健指導・清潔検査・歯みがき指導・家庭との連携）	3.5	3.5
13	総合的な学習の取組・外国語活動（年間計画・児童主体の活動）	3.6	3.6
14	教職員の資質能力の向上（校務・研修・組織）	3.8	3.7
15	業務改善に関する取組	3.4	3.4

2 児童と保護者による評価結果

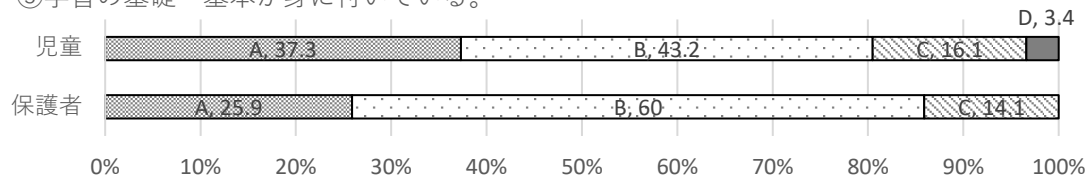
①学校に楽しく通っている。



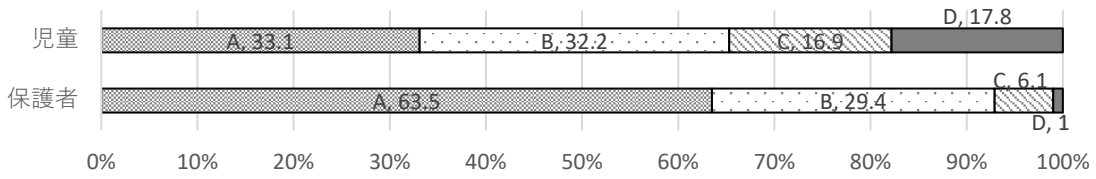
②勉強や運動に粘り強く取り組んでいる。



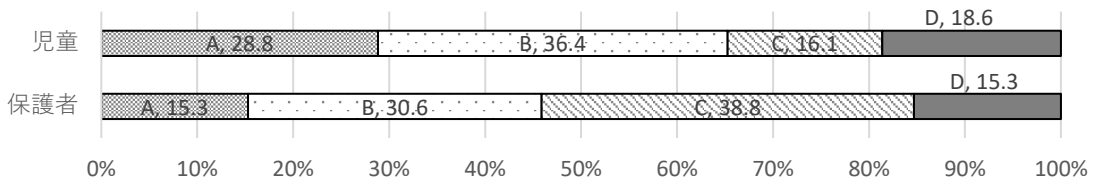
③学習の基礎・基本が身に付いている。



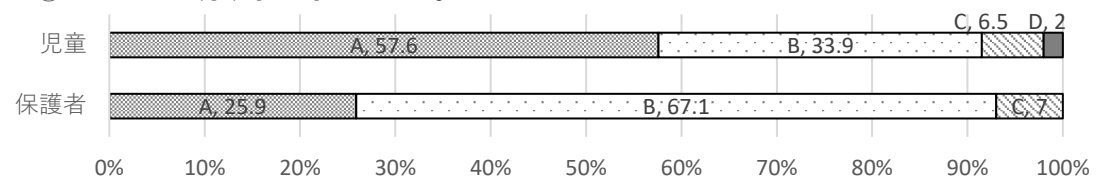
④宿題を忘れずにしている。



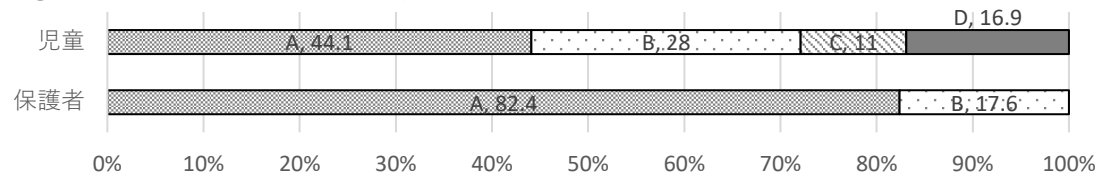
⑤本に興味を持って読書をしている。



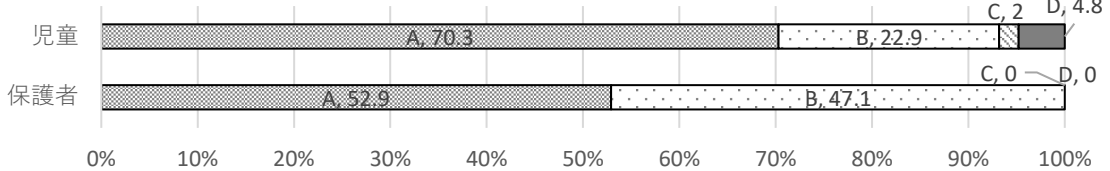
⑥いろいろな約束事を守っている。



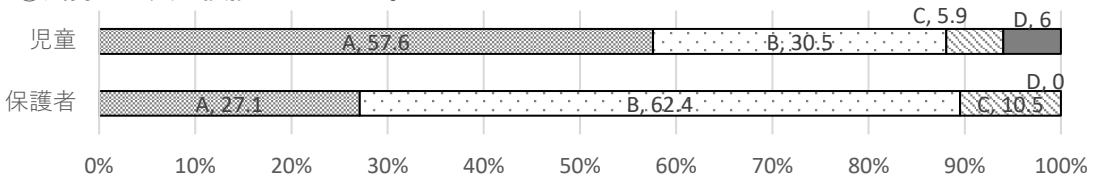
⑦子どもには良いところがある。



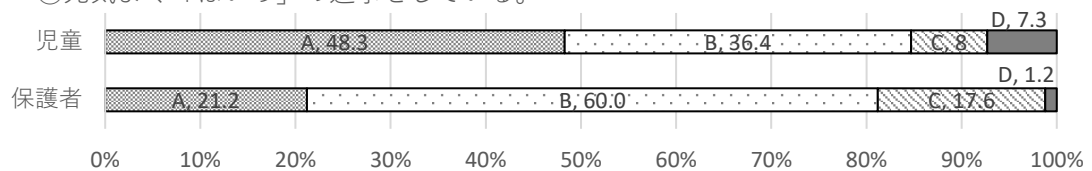
⑧学校は防災や安全面に配慮している。



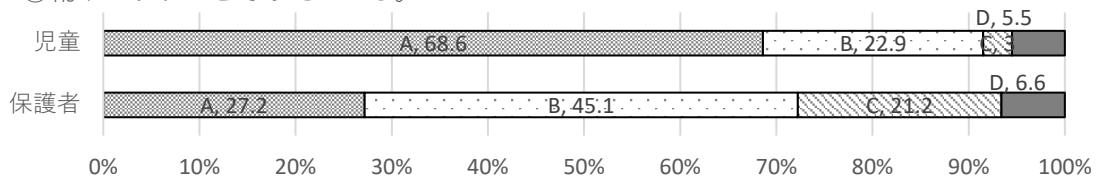
⑨気持ちの良い挨拶をしている。



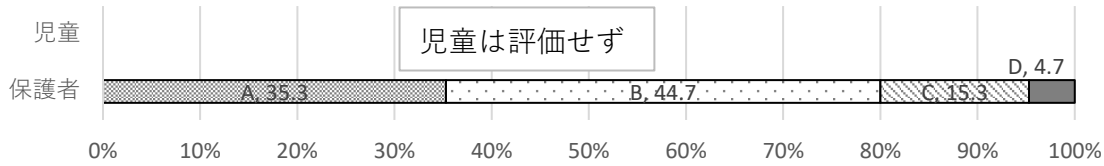
⑩元気よく「はいっ」の返事をしている。



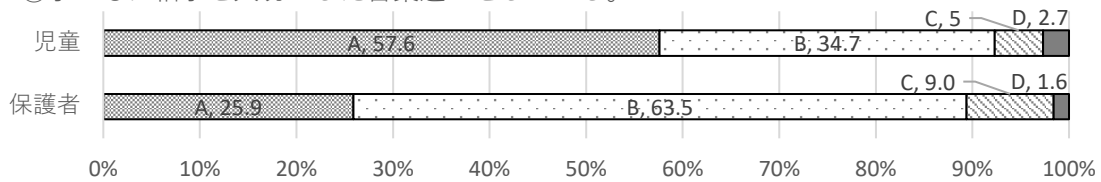
⑪靴やスリッパをそろえている。



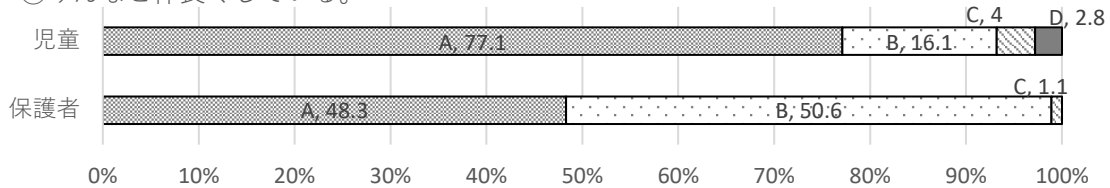
⑫PTA活動に積極的に参加している。



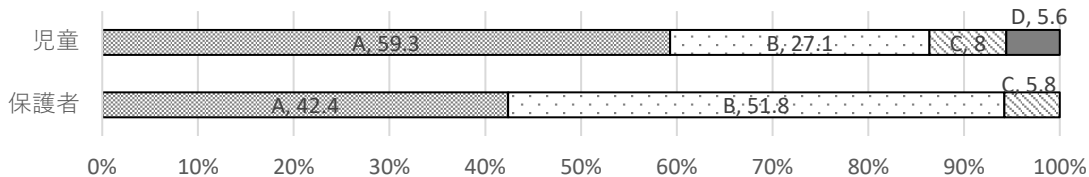
⑬子どもは相手を大切にされた言葉遣いをしている。



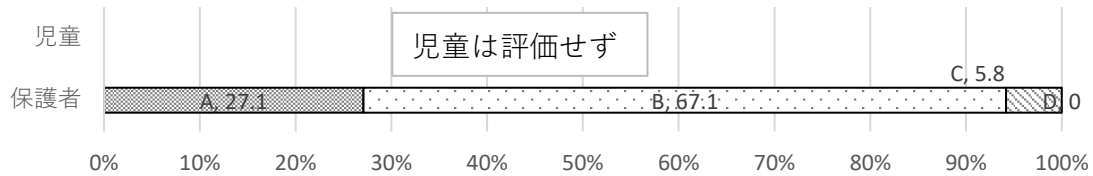
⑭みんなと仲良くしている。



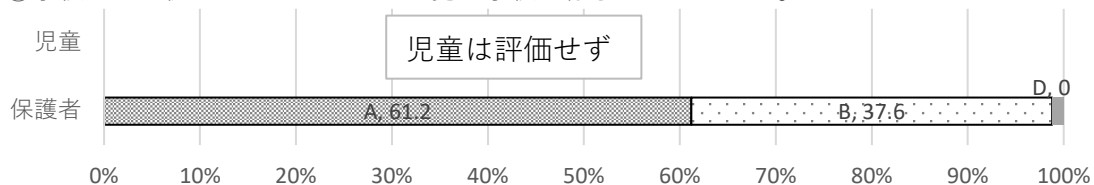
⑮基本的な生活習慣や体力づくりで健康的に生活している。



⑯いじめの防止や早期発見に努めている。



⑰学校からの便りやホームページを見て学校の様子を知っている。



3 考察

- ・「学校に楽しく通っている」と感じられている児童や保護者が多く、勉強や運動にも粘り強く取り組めており、満足感を感じながら学校生活を送れている。
- ・防災や安全面の配慮についても評価が高く、今年度大きな事故やケガもなく過ごすことができた。定期的な安全点検、登校指導、登校班長による反省などを続けていきたい。

4 学校運営協議会による評価結果

(1) 学校運営協議会委員の構成

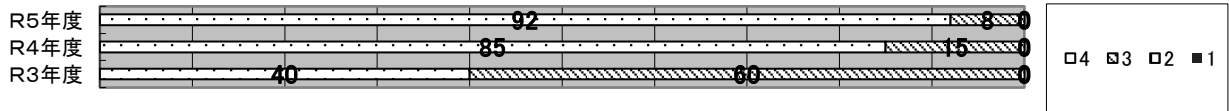
上分公民館長、人権擁護委員、地域コーディネーター、元PTA会長、上分壮年会長、上分婦人会長、地区社会福祉協議会長、上分地区民生児童委員協議会長、愛護班連絡協議会長、青少年育成連絡協議会長、川之江南中学校長、上分保育園長、校長 合計17名

(2) 記入年月日 令和6年2月26日

学校関係者評価結果（四国中央市共通項目）

4 とても当てはまる 3 どちらかといえば当てはまる 2 どちらかといえが当てはまる 1 全く当てはまらない

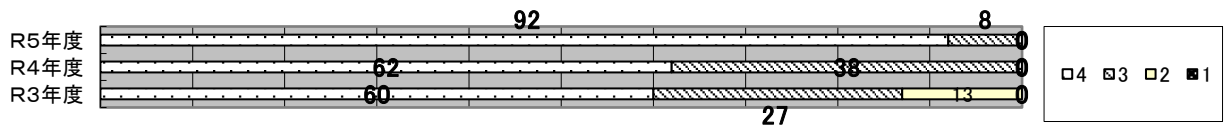
1 学校の教育目標に向けて具体的な目標を設定し、校長を中心に組織的に学校運営や教育活動を行っているか。



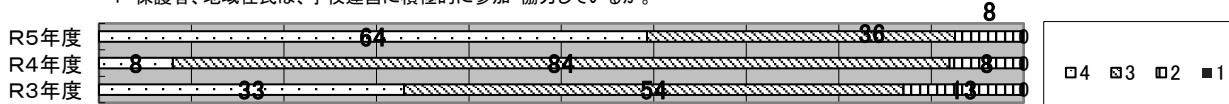
2 自己評価結果を分析して具体的な改善方策を実施し、課題が改善されているか。



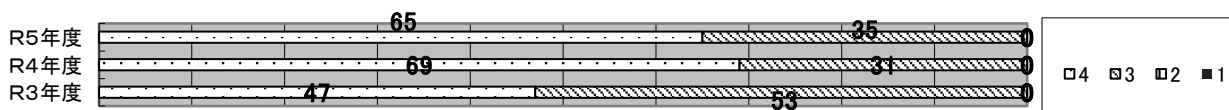
3 教育活動や評価結果に関して、分かりやすく情報が提供できているか。



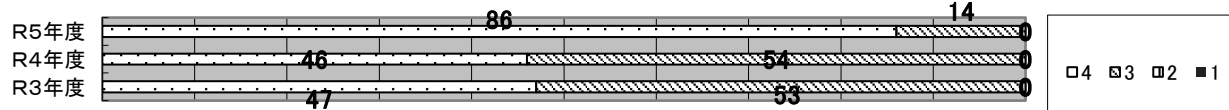
4 保護者、地域住民は、学校運営に積極的に参加・協力しているか。



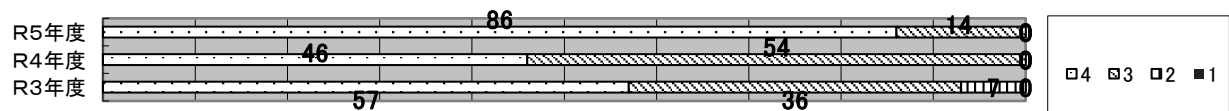
5 学校運営協議会は、適切に運営されているか。



6 子どもたちにとって充実した楽しい学校になっているか。



7 教師は熱心に指導し、児童や保護者の相談によくのっているか。



8 危機管理の徹底や施設設備の整備など児童の安全に配慮した教育活動を行っているか。



【考察】

- ・子どもが学校に通うのが楽しいと感じているという肯定的な保護者が100%であることと不登校児童がないことから、学校運営や教育活動の充実を感じられる。
- ・感染症での行動制限がなくなり、PTA活動が充実したものとなった。また、とどろき応援団の協力が得られて、学習活動や校外活動が広がったことから、保護者、地域と学校が連携した取組が増えた。
- ・定期的な安全点検や登校指導、登校班班長の反省、年3回の避難訓練などの取組で、安全に配慮した活動ができた。いろいろな事例を自分事として考え、行動できるよう研修も充実させたい。

【具体的改善策等の提言】

- ・学校が子どもの居場所となっている。「すばらしい友達の紹介」などで友達の良さに目を向けるよう意識させることができた。見通しを持って計画を立てることで、教職員が連携し、児童の変化を共有することができた。連携の大切さを教職員で共有し、継続していきたい。
- ・とどろき応援団への連絡を定期的に行うことができ、学習活動が広がった。共に参加していただけの機会を捉えて、活動を続け、地域と学校が手を携え、共に盛り上げてけるようにしたい。
- ・自己肯定感や自己有用感を高めるため、行事、学習活動などで感じた児童の良さを事あるごとに伝えていくとともに、道徳の時間など活用し、自分の良さを振り返る時間を確保したい。
- ・読書に関する評価や自主的な学習に関する児童の評価が低い。図書委員会による必読書リレーやスピーチでのお勧めの本の紹介などの取組を継続していく。また、チャレンジコーナーで、自主的な学習のノートを掲示し、他学年にも広げていけるようにする。
- ・行事や集会の持ち方や実施方法について、児童や教職員に負担のない方法を話し合い、精選しながら実りのある活動をできるように、話し合い、計画したい。

|

|